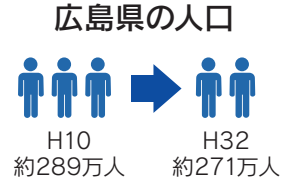


需要に応じた米の生産に向けて

～ 主食用米と非主食用米のバランスがとれた生産を ～

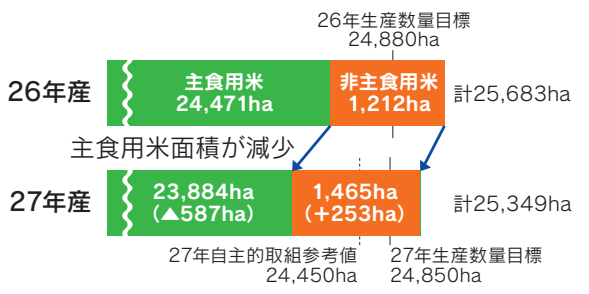
現状 **ポイント** ・非主食用米への転換が進み「加工用米」「WCS用稲」「飼料用米」の生産が増えています！
 ・一方で主食用米面積が大幅に減っており、非主食用米とバランスの取れた生産が必要です！

- 主食用米の需要は年々減少しており、非主食用米への転換が不可欠です。
- 非主食用米の増加面積を超えて主食用米の作付面積が減少しています。



※広島県で求められている非主食用米は…

- ▶ **加工用米** 酒造用かけ米 冷凍米飯原料
- ▶ **WCS用稲** 酪農向けの発酵粗飼料原料
- ▶ **飼料用米** 採卵鶏のエサ 肉用牛のエサ



今後の方向 **ポイント** ・主食用米は自主的取組参考値まで生産を確保しましょう！
 ・非主食用米を経営に取り入れることで、収入変動リスクに備えましょう！

《主食用米》

- 業務用向けの供給拡大や地元銘柄の育成(ブランド化)に取り組みましょう。
- 安定生産に向けて、実需者・消費者との結びつき(契約生産)を強化しましょう。

区分	供給先又は用途	主な品種	取組の方向
家庭用	スーパー, 生協, 直売, 米穀店, インターネットショップ等	コシヒカリ, あきろまん, ヒノヒカリ(今後, 恋の予感に転換), あきさかり, ひとめぼれ, こいもみじ等	・ 県中北部地帯の担い手を中心に生産 ・ 高品質, 良食味の追及 ・ 高付加価値(GAP, 特別栽培米等)
業務用	弁当, 外食(レストラン, 回転寿司, 定食屋)等		・ 各業務用途に適した品種を生産 ・ 複数年契約栽培によるロット確保と安定供給 ・ 生産履歴の把握
うち 特定需要	酒造原料, もち等	八反錦, 中生新千本, ヒメノモチ等	・ 特定産地で生産 ・ 需要に対し過不足なく安定供給 ・ 複数年契約栽培による安定生産

※県アクションプログラムから抜粋(一部改変)

《非主食用米》

- 需要の拡大が見込める非主食用米の生産(本作化)に取り組みましょう。

用途	H32作付計画 下段はH27	主な推進地域	主な取組の方向と留意点 ★共通事項:生産・流通コストの低減★
加工用米	4,500トン(840ha) 2,233トン(423ha)	北広島, 安芸高田, 三次, 庄原, 東広島地域	・ 求められる品種の栽培: 中生新千本(かけ米用), アキヒカリ, あきろまん(冷凍米飯用)など ・ 複数年契約栽培による安定出荷
WCS用稲	650ha 437ha	三次, 安芸高田, 庄原, 東広島, 三原地域	・ 混合飼料工場(広酪・三次)への出荷拡大 ・ 収穫機械の共同利用や収穫作業の委託
飼料用米	6,600トン(1,000ha) 1,995トン(376ha)	世羅, 三次, 庄原, 三原, 東広島, 安芸高田地域	・ JA系統養鶏場(世羅, 三次)への出荷拡大 ・ 肉用牛への利用拡大(SGS(ソフトグレインサイレージ)) ・ 知事特認品種(中生新千本, ホウレイ)や多収性専用品種の栽培と異種混入防止対策の徹底

※上記のほか, 米粉用米や転作扱いの酒米など, 地域の特色を生かした非主食用米の導入も検討しましょう。

(収入試算)非主食用米と主食用米

「産地交付金」などを活用して、収入を確保しましょう。

▶非主食用米に対する「水田活用の直接支払交付金」(平成28年産(予定))

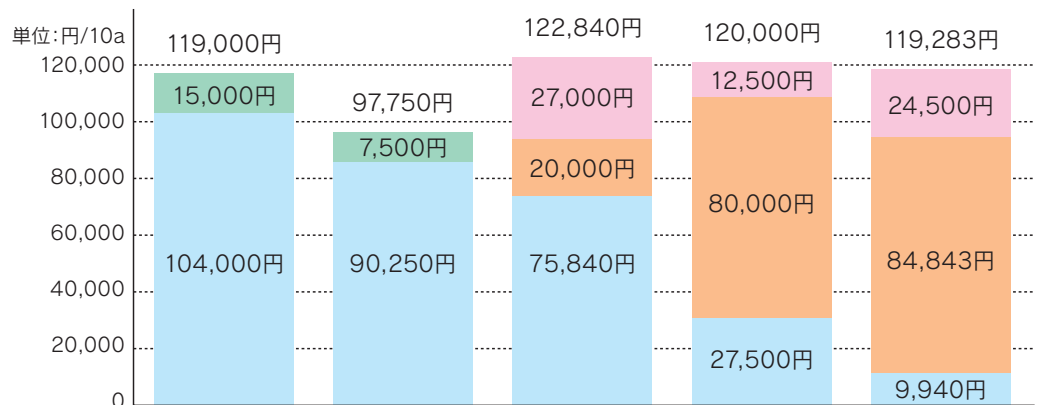
	助成対象	単価 (10a当たり)	加	W	飼
全国一律	加工用米	20,000円	○		
	WCS用稲	80,000円		○	
	飼料用米・米粉用米	55,000円~105,000円			○
県内一律(産地交付金)	備蓄米	7,500円以内			
	加工用米	7,500円以内	○		
	担い手加算(備蓄米除く)	7,500円以内	○	○	○
	〃 (飼料用米, WCS用稲) (①1ha以上作付又は②指定品種の作付)	5,000円程度		○	○
	飼料用米・米粉用米の多収品種 (中生新千本, ホウレイ含む)の取組	12,000円以内			○
	加工用米の複数年契約(3年間)の取組	12,000円以内	○		

※表中の“○”は、加工用米(加), WCS用稲(W), 飼料用米(飼)の助成対象であることを示します。
※地域農業再生協議会でも独自に加算措置を行う場合があります。

▶その他の助成金

耕畜連携助成
13,000円/10a
①飼料用米のわら利用 ②水田放牧 ③資源循環 いずれかの取組に対し助成
緊急加算(産地交付金)
不作付地等への作付
15,000円/10a程度
対象者:担い手 対象作物:飼料用米 WCS用稲 加工用米 米粉用米

【不作付地等には一定の要件があります】



用途	H25年産	H27年産	H28年産		
	主食用米 (コシヒカリ)	主食用米 (コシヒカリ)	加工用米 (かけ米(中生新千本))	WCS用稲 (たちすずか)	飼料用米 (知事特認:中生新千本)
単価(kg当たり)	200円	178円	145円	11円	18円
平均単収(10a当たり)	520kg	507kg	523kg	2,500kg	552kg
販売収入	104,000円	90,250円	75,840円	27,500円	9,940円
国交付金(米の直接支払交付金)	15,000円	7,500円			
H28年国交付金(戦略作物助成)			20,000円	80,000円	84,843円
H28年国交付金(産地交付金 県段階)			27,000円	12,500円	24,500円
収入合計	119,000円	97,750円	122,840円	120,000円	119,283円

- ・米の直接支払交付金の交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10aを差し引いた面積となります。
- ・単価:主食用米と加工用米(概算金, 追加精算金含), 飼料用米は全農ひろしま取扱い価格, WCS用稲は広酪取扱い価格
- ・飼料用米及びWCS用稲については、耕畜連携助成(13,000円/10a)の対象となる場合があります。
- ・担い手がH27年度不作付地等に作付する場合、別途加算(15,000円/10a程度)の対象となります。
- ・収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)に加入することで、主食用米の収入減少を緩和することができます。

作成:広島県農業再生協議会 ※本チラシの内容は平成28年2月のものです。

◀問い合わせ先▶広島県(広島市中区基町10-52 農業経営発展課 電話082-513-3557)
全農ひろしま(東広島市西条吉行東2-3-41 米穀総合課 電話082-431-5450)
広島県農協中央会(広島市中区大手町4-7-3 農政営農課 電話082-243-6244)
または、最寄りの地域農業再生協議会(各市町, 各JA)までお問い合わせください。